

出会って広げよう

～ゴッホの魅力に迫る～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

- 1 日 時 : 平成29年9月14日(木) 5校時
- 2 場 所 : 美術室
- 3 学年・学級 : 1年2組 34人(男子18人 女子16人)
- 4 単元名 : 出会って広げよう ～ゴッホの魅力に迫る～
- 5 単元について

(1) 題材観

本題材は中学校学習指導要領美術の第1学年の内容「B鑑賞」(1)「美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する」の指導事項、「ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること」及び〔共通事項〕(1)「イ 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること」を受けて設定したものである。

ゴッホは日本での知名度が高く人気のある芸術家の一人である。特に本題材の「種まく人」は色彩や構図において強烈な印象を与える作品である。力強い筆のタッチ、独特な配色など作品の特徴を捉えやすく、他の作品と比較鑑賞に適した作品である。グループ活動を通してゴッホの作品が日本で人気がある理由を考え、他者との交流により感じ方の共通点や違いに気づき、見方や感じ方を広げて作品の魅力を探求することができると考え本題材を設定した。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級の生徒に対し、美術の教科に関するアンケート調査をしたところ、次のような結果となった。美術の授業の中でも表現活動に関して79%の生徒が描いたり、造ったりすることに好意的であり、1学期に学習した人物クロッキーやデッサン、レタリングの授業が楽しかったと答えた生徒は82%に達した。一方、鑑賞の授業では68%の生徒が授業に苦手意識を抱いており、74%の生徒が作品に対して自分の意見や感想を言葉にして発表することが好きではないと答えている。また、自分の意見や感想を文章で書くことが好きでない生徒は53%いることが分かった。これらのことから、自分が感じたことを他者の前で説明することや、発表するなどの表現力に課題があり、考えをまとめたり、文章にしたりすることなどの言語活動の充実が必要である。

質 問	肯定的回答	否定的回答
美術の授業は好きですか。	68%	32%
美術の表現の学習(描いたり、つくったり)は好きですか。	79%	21%
美術の鑑賞の学習(作品を見て深く味わう)は好きですか。	32%	68%
作品について、自分の意見や感想を言葉にして発表することは好きですか。	26%	74%

作品について、自分の意見や感想を文字にして書くことは好きですか。	47%	53%
「人物クロッキーやデッサン・レタリング」の授業は楽しかったですか。	82%	18%
「人物クロッキーやデッサン・レタリング」は上手く描けましたか。	56%	44%
「人物クロッキーやデッサン・レタリング」を描くときは、どうしたら ^{うま} く描けるか、考えながら取り組みましたか。	79%	21%

(3) 指導観(指導改善のポイント)

生徒はこれまでの学習で色彩の基礎的な仕組みを習得している。しかし、色彩の環境への影響や作品との関係性において、実習経験が少なく習得した内容を活かすだけの働きかけをしていないのが現状である。本題材の目標はゴッホ作品の特徴を読み取り作品の魅力を見つけ、自分なりの価値基準で、その答えを出していくことにある。そのため、生徒がこれまでに学習した内容と関連づけながら作品について深く考え主体的に活動させたい。さらに、課題を解決させるために、自分の言葉で整理して伝えるようにするために、個人思考で書き出したことを説明させて、互いに話し合いながらグループでの集団思考へ展開させ、他者との価値観の違いや、多様な見方があることを知り、新しい発見に気づくように図りたい。また、造形リテラシー(美術に係る読み書き能力)の観点から美術的な言葉を使い比較鑑賞させてゴッホの作品の特徴、他の作品との差異を感じ取らせ表現の工夫を読み取らせることで表現の深化を図りたい。

単元の目標

- 造形的なよさや美しさ、表現の工夫を主体的に感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げる。
- 形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえ、自分の思いや考えをもって味わっている。

単元の評価基準

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
課題について興味・関心を持ち、表現の工夫など主体的に感じ取ろうとしている。			造形的なよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。

6 指導と評価の計画

全時間 (本時は1/1)

次	学習内容(時数)	主な学習内容				評価基準	資質・能力の評価
		関	発	技	館		
1	・ 作品を見る。 課題設定						

<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴をとらえる。 ・ミレーの作品を見る。 ・発表 <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴッホの生涯について簡潔に確認する。 ・ゴッホの他の作品を見る。 ・ゴッホの人気の理由を考える。 ・意見交流により、さまざまな考えを聞く。 <p style="text-align: center;">実行・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えを見つける。 グループの考えをまとめる。 ・発表。 <p style="text-align: center;">まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや考えたことを書く。 	○			<p>課題について興味・関心を持ち、表現の工夫など主体的に感じ取ろうとしている。</p> <p>◎ 造形的なよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。</p>	<p>【課題発見解決力】 造形的なよさや美しさ、表現の工夫に気づき、答えを見つけるために作品を深く探求している。</p>
---	---	--	--	---	--

7 本単元において育成しようとする資質・能力との係わり

本校において、重点的に育成しようとする資質・能力は次の6つである。

知識	①将来に通用する基礎学力
スキル	②課題発見・解決力 ③人間関係形成能力
意欲・態度	④チャレンジ精神 ⑤耐える力
価値観・倫理観	⑥人としての思いやり

この中でも、特に本単元では、次の点に重点を置くものとする。

【スキル】

②課題発見・解決力

- ・作品の形や色、構図や人物の描き方などから、造形的な工夫を感じ取り、美術的な価値基準で自分なりの答えを見つけるために作品を深く探求する。

8 本時の展開

(1) 本時の目標

作品の造形的な表現の工夫を感じ取り、作品のよさを自分の美術的価値基準で、表現することができる。

(2) 観点別評価規準

・課題について興味・関心を持ち、表現の工夫など主体的に感じ取ろうとしている。

(関心・意欲・態度)

・造形的なよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。

(鑑賞の能力)

(3) 準備物：大型テレビ、画像、パソコン、ワークシート

(4) 学習の展開（時間目 1/1 全時間）

	学習活動	指導上の留意事項及び (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	評価方法及び 評価規準
導入	1 ゴッホの自画像を見る。	■ 誰の自画像か問う。 ・自画像を見せて本時の授業の意欲づけをする。 ■ ランキングを提示する ◆ 生徒の反応を拾い上げて共有する。	
	2 日本人が好きな美術家のランキングでゴッホの人気があることを確認する。		
3 本時の目標の確認をする。			
	本時の目標：なぜ、ゴッホの作品は人気があるのか！理由を見つけることができる。		
		◆生徒にゴッホの人気の理由を予想させて、理由を追及する意識を持たせる。	
展開	4 鑑賞のルールを確認する。	■ 大型テレビに文章を写し、読んで確認する。 ■ 生徒にキーワード（造形用語）には何があるか振り返らせる。 ・色彩、形、構図、タッチ（筆づかい）、制作意図、作者の心情 ■ 作品名、作者名を書かせ、特徴などを問いかけ、作品をしっかり観察させる。	課題について興味・関心を持ち、表現の工夫など主体的に感じ取ろうとしている。 (関) 【生徒の発言】 【ワークシート】
	5 鑑賞するために必要なことを確認する。(既習内容の振り返り)		

<p>6 「種まく人」を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミレーの「種まく人」を提示して比較鑑賞する。 ・描かれているもの、形や色彩について造形用語を使って、特徴をワークシートに書き出す。 <p style="text-align: center;">個人思考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆造形用語を使うようにうながす。 ■ミレーの作品を見せることで作品を比較させ、ゴッホ作品の特徴や疑問点を引き出させる手立てとする。 ◆ミレーの作品について知っていることを発問する。 <p>○予想される生徒の答え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農民を多く描いた。 ・リアルな描き方。 ・写実主義。 ・色調が暗い。 <p>◆机間指導で記入状況を確認して個に応じた支援をする。</p>	
<p>7 作品の特徴を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴッホの生涯について知る。 ・ゴッホの他の作品を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■造形用語を使って発表させる。 ◆全体の特徴をまとめる。 <p>○解答例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明快な色調。 ・絵の具が厚く塗られている。 ・大胆なタッチ。 <ul style="list-style-type: none"> ■ゴッホの生涯について説明する。 ◆挫折した過程を簡潔に説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ■ゴッホの作品を見せて、生涯と関係づけさせて独創的な表現の特徴を再認識させて考えを発展させる。 ◆年代や制作場所により作品に変化があることを感じ取らせる。 	
<p>8 なぜ、ゴッホの作品は世界的に人気があるのか課題を提示する。</p> <p style="text-align: center;">個人思考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴッホの特徴をヒントに人気のある理由をまとめるように指示する。 ◆机間指導で記入状況を確認して個別にアドバイスをする。 	
<p>7 グループで意見交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴッホ作品の人気の理由をグループで意見を出し合わせて、まとめる。 	

	<p style="text-align: center;">集団思考</p> <p>8 グループでまとめてホワイトボードに記入する。</p> <p>9 ゴッホの人気の理由を発表する。</p> <p>10 ゴッホに人気について、感じたこと考えたことなど感想を書く</p>	<p>◆グループの中で役割を決めて全員が発表するよう進めさせる。</p> <p>◆机間指導でグループの様子を確認して活発な交流ができるように助言する。</p> <p>■黒板にホワイトボードを掲示させて、代表者に発表させる。</p> <p>◆肯定的に意見を受け止めて、さまざまな意見があることを確認しながら進行する。</p> <p>◆どんな発表内容も尊重する。</p> <p>○解答例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチに迫力があり情熱を感じられる。 ・明るく鮮やかな色遣いで元気がもらえる。 ・ほかの画家にない独特な色遣いやタッチの工夫がある。 ・挫折を繰り返した人だから魅力がある。 <p>■ゴッホの人気について自分なりの価値意識で理由を明確に書くようにうながす。</p> <p>○予想される生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミレーとゴッホの違いを比較した色彩の違い。 ・大胆なタッチが印象に残る。 ・ミレー作品を参考にしながらも独自の表現をしている。 	<p>造形的なよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。 (鑑)</p> <p>【ワークシート】 【生徒の発言】</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の工夫に気づき、答えを見つけるために作品を深く探求している。 (課題発見解決力) 【ワークシート】</p>
まとめ	11 本時の振り返り	<p>■ワークシートに課題解決に向けての自己評価をさせる。</p> <p>■自己評価表（振り返りシート）を記入させる。</p>	

(5) 本時で育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
②課題発見・解決力	A 作品の形や色，構図や人物の描き方などから，造形的な工夫を感じ取り，美術的な価値基準で自分なりの答えを見つけるために作品を深く探求している。 B 描かれた内容を，造形用語を使い作品の特徴を感じ取り，造形的なよさや美しさ，表現の工夫を味わうことができる。 C 描かれた内容を，造形用語を使い作品の特徴，造形的なよさや美しさ，表現の工夫を味わうことができない。